

見晴台自治会新聞

2025-8 号
発 行
2026.1.15
自 治 会 局
自 事 務

総合防災訓練実施

ー いざと言う時の地域内助け合いー

十二月七日(日)見晴台の総合防災訓練が実施された。各組では災害発生を想定した一時集合と安否確認の訓練、やまぼと公園では消火や救護等の総合防災訓練を行い、災害時の行動を確認し合った。

静岡県では十二月第一日曜日を「地域防災の日」とし、見晴台も毎年この日に合わせ防災訓練を行い自助・共助による地域防災力の向上を図っている。コロナ禍でここ数年は組長のみの参加とされていたやまぼと公園での災害に備えた各種訓練に、今年は住民希望者も参加できるようになった。

朝九時、訓練開始を告げるサイレンと共に、住民は各組の集合場所に決められた消火栓ボックスに集まり、組長の点呼による安否確認訓練と、消火栓の紹介や「見晴台防災マニュアル」の説明を受けた。やまぼと公園では自治会役員と各組の自主防災部員



第五分団指導による消火栓放水訓練



簡易担架を使った救護訓練

が、当日朝から訓練会場を設営。安否確認訓練後に集合した住民は、第五分団(消防団)指導の下で消火栓を使った放水、役員/防災部員から簡易担架による救護、仮設トイレ設営等の訓練を受け災害に備えた。

自治会館消防訓練

自治会館防火マニュアルに沿い、十二月九日(火)に自治会会館で火災を想定した避難訓練と消防署への通報訓練が行われた。火元が自治会館中央部付近のため、会館中央の玄関は避難経路として使えず、調理室勝手口と駐車場側掃出し窓から避難する想定で、火元確認、館内への呼びかけと避難経路確保、会館駐車場までの避難と点呼までの一連の動作を行い、手順や注意点を確認した。避難訓練後は実際に一一九番を使った消防署への通報訓練を行い、火災発生時の消防署係員とのやり取りを確認した。

自治会館大掃除

十二月も残り僅かとなった十二月十三日(土)に、自治会役員と自治会関係団体による自治会館の大掃除が行われた。大掃除は役員が集合する年内最後の行事となる。

九時に集合した役員と関係団体の協力者は、自治会



会館内(和室)掃除の様子

館内外の担当場所に分かれ、普段の掃除では動かない設備も移動し、会館内は調理室・トイレを含むすべての部屋、外は駐車場側溝の中まで、一年間に溜まった埃や汚れを取り除いた。会館内では最後にフロアのワックスがけまで行い、一時間余りの時間をかけ大掃除は終了した。会館はこの後十二月二十七日(一月五日まで年末年始の休館となった)。

事務局よりー自治会館修繕ご報告と来年度組三役・役員選出のお礼ー

自治会館玄関の泥落としが老朽化・変形し、来館者が躓き転倒の恐れもあるため、今年度の自治会予算に修繕を申請し、泥落とし撤去と玄関入口フラット化の工事を行いました。工事期間中は会館への出入りにご協力ありがとうございました。



会館玄関をフラット化



側溝内に溜る落ち葉も掃除

十一月組長会議にて、各組の組長さんに来年度の組三役の選出を、更に一部の組には自治会役員の選出もお願いしていました。十二月末までにすべての組から選出結果をご連絡いただきました。組長の皆さんありがとうございました。選出された皆様、来年度からよろしく願いいたします。